

評価表

施設名：奈良県障害者総合支援センター、県営福祉パーク及び福祉住宅体験館

委員名：

審査基準	審査のポイント、着眼点	適否	備考(コメント等があれば、ご記入ください)
①事業計画書に沿った管理を安定して行うために必要な経理的及び技術的な基礎を有していること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>安定した経営基盤を有しているか</li> <li>社会福祉施設を良好に経営できるか</li> </ul>	適・否	
②住民の平等利用が確保されること。 【確保されていなければ失格】	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉施設利用者の積極的で円滑な受け入れの姿勢があるか</li> <li>受付の方法や、利用申請の重複の場合の調整方法など住民が利用するにあたって平等、公平に運営が行われるようになっているか</li> <li>重度、重複障害等支援の困難性の高い障害者の積極的な受け入れの姿勢があるか</li> <li>福祉住宅体験館の受付の方法や、「多目的運動ホール」「研修室」の利用申請の方法など住民が利用するにあたって平等、公平に運営が行われるようになっているか</li> </ul>	適・否	
③施設の効用を最大限に発揮するとともに効率的な管理運営が行われること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービスの質の確保と経営の効率性のバランスをどのように図っていくかの経営戦略が明確であるか</li> <li>算出根拠が明確かつ妥当で、実現可能であるか</li> <li>効率的な運営ができる体制が図られているか</li> <li>収支の改善に向けた取り組みが提案されているか</li> <li>利用料金の設定についての考え方が適切であるか</li> <li>維持管理に必要な関係法令等が具体的に把握されており、適切な維持管理が行えるか</li> <li>維持管理を効率的に行う方策が述べられているか</li> <li>環境に配慮した取組が述べられているか</li> </ul>	適・否	
④適切な管理ができること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報を適切に取り扱う考え方と仕組みが確立されているか</li> <li>情報管理が適切に行われる体制がとれるか</li> <li>人権擁護に対する職員の意識啓発が図られているか</li> <li>苦情解決の体制がとれるか</li> <li>事故を未然に防ぐ体制がとられているか</li> <li>事故発生時の適切な対応の仕組みがあるか</li> <li>災害防止のため適切な対応が可能であるか</li> <li>緊急時に迅速かつ適切な対応が可能であるか</li> </ul>	適・否	
⑤指定管理業務について、相当の知識及び経験を有する者を従事させることができること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉と医療の連携によるサービス体制が図られているか</li> <li>効率的な運営のできる体制が図られているか</li> <li>優秀な福祉人材の確保が期待できる選考方法及び選考基準であるか</li> <li>採用計画の実現可能性が高いと見込まれるか</li> <li>適切な技術水準を確保するため、経験豊富な責任者、指導者その他の職員を配置することができるか</li> <li>法令等で定められている配置基準は最低限満たしているか</li> </ul>	適・否	
⑥提案価格が妥当であること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>積算根拠が妥当であるか【著しく低い場合は失格】</li> </ul>	適・否	

⑦障害者総合支援センター、県営福祉パーク及び福祉住宅体験館の役割を適切に担えること。	<b>【障害者総合支援センター】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営の理念が、指導、訓練等を総合的に行い、障害者の社会自立の促進に寄与する等その福祉の増進を図るという設置目的に整合しているか</li> <li>・県立施設として、重度、重複障害等、支援の困難性の高い施設利用者へ対応できる支援内容であるか</li> <li>・福祉の質の確保、その他サービス向上について具体的な取組が述べられているか</li> <li>・個々の利用者の障害特性に合わせた支援が行われるか</li> <li>・利用者への良質なサービスの提供に向け、サービスの評価(第三者評価、自己評価)の実施に向け取り組む姿勢があるか</li> <li>・利用者等の情報や空床状況を的確に把握し、計画的な運営が行われるか</li> <li>・利用率向上に向けた効果的な広報が行われるか</li> <li>・市町村等関係機関と円滑に連携する姿勢があるか</li> <li>・ホームページに掲載する内容を充実させる姿勢があり、更新頻度の目標が頻繁であるなど、情報発信に意欲的であるか</li> </ul>	適・否	
	<b>【県営福祉パーク及び福祉住宅体験館】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護問題に関心を持つきっかけづくりを図るか</li> <li>・介護等に携わるものが高齢者や障害者の介護等に関する知識の取得を図り、介護技術の向上を図るか</li> <li>・最新の福祉用具、介護保険サービスの対象となる用具、ユニバーサルデザイン製品等の実物を展示し、使用方法等についても適切なアドバイスができるか</li> <li>・福祉住宅体験館を有効に活用し、指定管理者の創意工夫に基づくこれからの高齢者介護とそれを支える地域社会づくりに取り組む人材育成のための提案が優れているか</li> <li>・相談日の設定が、利用者のニーズにかなっているか</li> <li>・相談員の配置が条件にあっているか</li> <li>・情報収集、発信について効果的な方法が記載されているか</li> </ul>	適・否	
総合評価		適・否	

対象事業者の事業計画書について、評価のポイントとなった優れた点などがあればご記入下さい。	
--	--